

週間市場レポート (2021年9月20日~9月24日)

1) 先週の市場動向

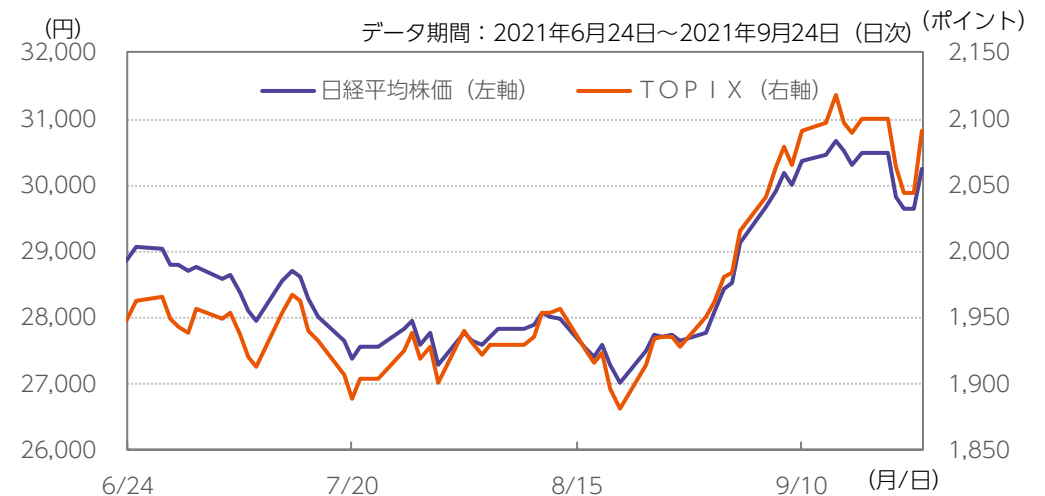
指数名	国	前週末 2021/9/17	先週末 2021/9/24	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		30,500.05	30,248.81	▲ 0.82 ↓
TOPIX (東証株価指数)		2,100.17	2,090.75	▲ 0.45 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,584.88	34,798.00	0.62 ↑
S & P500種指数		4,432.99	4,455.48	0.51 ↑
ナスダック総合指数		15,043.97	15,047.70	0.02 ↑
ユーロ・ストックス50指数		4,130.84	4,158.51	0.67 ↑
S & P/ASX300指数		7,408.11	7,345.90	▲ 0.84 ↓
上海総合指数		3,613.97	3,613.07	▲ 0.02 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		998.51	986.43	▲ 1.21 ↓
東証REIT指数		2,121.37	2,084.64	▲ 1.73 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		886.23	876.58	▲ 1.09 ↓
ASX300 REIT 指数		1,669.70	1,644.00	▲ 1.54 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		208.49	206.97	▲ 0.73 ↓
日本10年国債 (%)		0.054	0.060	0.006 ↑
米国10年国債 (%)		1.362	1.451	0.089 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.280	▲ 0.228	0.052 ↑
英国10年国債 (%)		0.846	0.925	0.079 ↑
ドル/円		109.93	110.73	0.73 ↑
ユーロ/円		128.92	129.77	0.66 ↑
英ポンド/円		151.11	151.41	0.19 ↑
豪ドル/円		79.90	80.41	0.63 ↑
フィラデルフィア半導体指数		3,421.16	3,453.92	0.96 ↑
WTI原油先物 (ドル)		71.97	73.98	2.79 ↑
CRB指数		222.11	225.31	1.44 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。中国の不動産開発大手、中国恒大集団の経営不安を背景に続落し、22日（水）はおよそ3週間ぶりの安値となりました。その後、同社が人民元建て債券の利払いを実施すると発表し、債務問題をめぐる懸念が一旦後退すると上昇し、週末の終値は30,000円台を回復しました。21~22日の日程で開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）が、波乱なく通過したことも追い風となりました。

なお、同日程で開催された日銀金融政策決定会合では金融政策の現状維持が決定され、大方の予想通りであったことから市場の反応は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。中国恒大集団の経営不安を背景に米長期金利が大きく低下した流れを受け、週末まで国内金利は低下したものの、週末には、FOMCを受けた米金融政策の正常化期待や中国恒大集団の経営をめぐる懸念後退から売りが優勢となり（利回りは上昇）、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

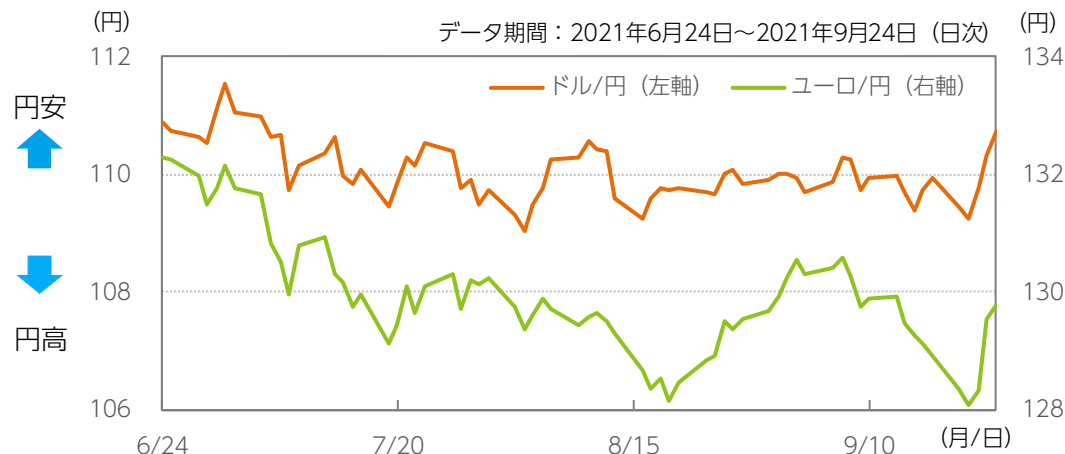
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。中国恒大集団のデフォルト（債務不履行）懸念が、不動産市場のみならず国際金融システムにも影響を及ぼすとの見方から、景気敏感株を中心に幅広い銘柄が売られました。週末にかけては、同社の債務問題への警戒感が一旦和らいだことや、FOMCを無難に通過したことなどを材料に続伸し、週間では小幅な上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。中国恒大集団の経営不安で投資家のリスク回避姿勢が強まり、円買い米ドル売りが進行しました。その後、同社の債務不安がひとまず後退したことや、米長期金利が大幅上昇したことなどから、週末にかけては円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、中国不動産大手、中国恒大集団の経営をめぐり、リスク回避の動きが強まったものの、週末にかけて債務不安が和らぐと、日米両市場ともに落ち着きを取り戻しました。

中国恒大集団が、経営破綻に陥るとの懸念が強まっています。欧米には同社の社債を保有する投資家が多く、経営破綻した場合の金融市場への影響が懸念されます。中国当局がデフォルト回避を指示したとの報道から、市場は一旦落ち着きを取り戻したものの、23日（木）期日の社債の利払いの一部が実施されませんでした。未払いがデフォルトと判断されるまでの30日間の猶予期間に、同社がどのような対応を打ち出すかが注目されます。

中国恒大集団が利払いに応じる姿勢を示したことから、先週末に株式市場は一旦落ち着きを取り戻しましたが、当面、同社の経営問題にかかる報道で不安定な相場展開となることも予想されます。今週の国内株式市場は、自民党総裁選を控え次期政権への政策期待から上昇すると予想します。米国株式市場も、FOMCを無難に通過し、安心感から上昇基調をたどるものとみられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>